

特集

# 本当の富士山を知っていますか。

富士山はよく「ゴミの山」「世界一汚い山」といわれていますが、本当にそうでしょうか。

実際に富士山に登ってみると、五合目以上の登山道にはほとんどゴミが見当たらないことに気がきます。また、ゴミを拾いながら登下山している人も見かけます。山小屋トイレも、これまでの放流・浸透処理のトイレから、環境にやさしい自己完結型トイレに変わってきています。

私たちがよく耳にする富士山のイメージは、本当にいまの富士山の姿なのでしょう。本当の富士山の姿を知るため、富士山のゴミやトイレの現状と課題、そしてこれからの取組みについて紹介します。

## ○ 富士山のゴミ対策の現状と課題

富士山のゴミ問題は、長年、地道に富士山の美化活動に取り組んでいる多くの方々のおかげにより、徐々に改善されてきています。

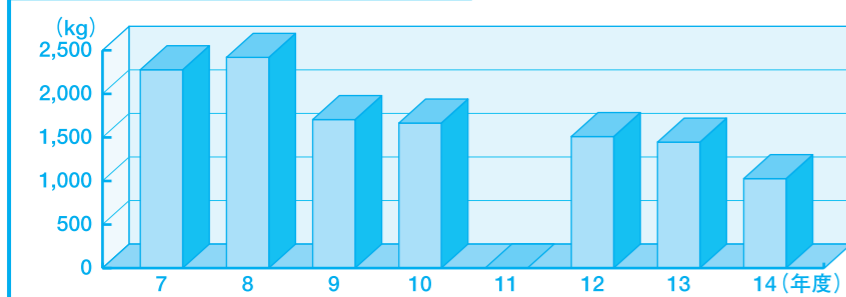
ふじさんネットワークでも、昨年度から、登山者等へのマナー指導を行う富士山エコレンジャー活動をはじめたほか、地元の企業・団体等の参加のもと「富士山みがきあげ作戦」として富士山裾野のゴミの実態調査とゴミを捨てさせない方法の検討・提案に取り組んでいます。

ふじさんネットワークをはじめ、国・県・市町など関係者が連携して、富士山を訪れる方のマナー向上やゴミ持ち帰りの啓発活動として、

- ・富士山エコレンジャーによる登山者等への直接的なマナー指導の実施
- ・山小屋と連携した登山者等へのマナー指導の実施、啓発ポスターの掲示
- ・旅行者、バス会社と連携した登山者等へのマナー指導の実施、シャトルバス車内啓発ビデオの放映
- ・カントリーコードの普及強化などに取り組んでいます。

このようなボランティア、企業、行政等の清掃活動や富士山エコレンジャー活動などの長年の活動により、その成果が着実に表れています。

富士山一斉清掃の集積量の推移グラフ



富士山一斉清掃の推移  
富士宮口、御殿場口、須走口の五合目以上で実施した清掃実績。(毎年8月第3日曜日に実施)

富士山のゴミ問題が大きく改善されつつある今、私たち1人1人がマナーを守り、できることを確実に実践し、今よりも美しい富士山を未来の子供たちに引き継ぎましょう。

### ●富士山一斉清掃(富士山をいつまでも美しくする会・事務局 富士宮市、御殿場市、小山町の持ち回り)

富士山の一斉清掃は、昭和54年静岡県知事(山本敬三郎)の提唱により「富士山を一度徹底してきれいにする会」を発足し、同年8月にクリーン作戦を実施したのをきっかけに本格的な活動が始まりました。昭和55年から継続して美化推進を行う機関として「富士山をいつまでも美しくする会」を発足し、富士宮登山口支部、御殿場登山口支部、須走登山口支部にて、清掃事業を継続的に実施しています。

## ○ 富士山トイレの整備状況と今後の展開

### 富士山トイレの現状

富士山のトイレの現状は、夏期の集中利用に加え、寒冷な気候、強風、雪崩等の厳しい気象、地形・地質、水や電気が期待できないことなどの厳しい条件により、放流、浸透による処理方法が依然として存在しており、山肌にし尿とともに放流されてこびりついたティッシュペーパーや悪臭など好ましくない現象が指摘されています。

このような状況の中、静岡県では、平成8年度から調査・検討をはじめ、平成10年度には学識経験者、山小屋関係者、行政等で構成する「富士山トイレ研究会(委員長 岩堀恵祐 静岡県立大学教授)」を発足し、各種の処理方式による実証実験を開始し、富士山にふさわしいトイレのあり方について検討を行ってきました。

富士山におけるし尿の放流・浸透処理をなくすため、平成14年1月に出された最終報告を踏まえ、平成14年度から富士山の山小屋トイレに環境にやさしい自己完結型トイレを導入しています。



トイレの内部

### 富士山トイレの整備状況

現在までに、富士宮口5箇所、御殿場口4箇所、須走口4箇所の計13箇所の山小屋トイレに、環境にやさしい自己完結型トイレが導入されました。

利用者の感想も「バイオトイレは、清潔で臭いもなく感心した」「富士山ではトイレに行かないつもりだったが、清潔なトイレで安心した。これなら有料でも仕方ないと思った」などと非常に好評です。

富士山の公衆トイレは、富士宮口、御殿場口、須走口の五合目の3箇所と山頂の1箇所のみであることから、公衆トイレの役割を担う山小屋トイレについて、平成16年度を目標に全て整備し、富士山におけるし尿の放流・浸透をなくす計画です。

富士山の「白い川」の解消ももう間近です。



平成15年度新たに整備されたトイレ

富士山トイレ整備計画

	富士宮口	御殿場口	須走口	計
⑭整備			3	3
⑮整備	5	4	1	10

山小屋の整備状況  
平成15年度までに13件整備し、平成16年度までにすべての山小屋トイレを整備する計画。

### ●富士山でトイレを使ったら必ずチップを払いましょう。

富士山の自己完結型トイレは、燃料やトイレトペーパーのほか、厳しい気象条件の中で処理能力を適切に発揮するための維持管理費がかかっています。

富士山でトイレを使ったら必ずチップを払いましょう。

※登山するときあらかじめ小銭を用意しておくとう便利です。

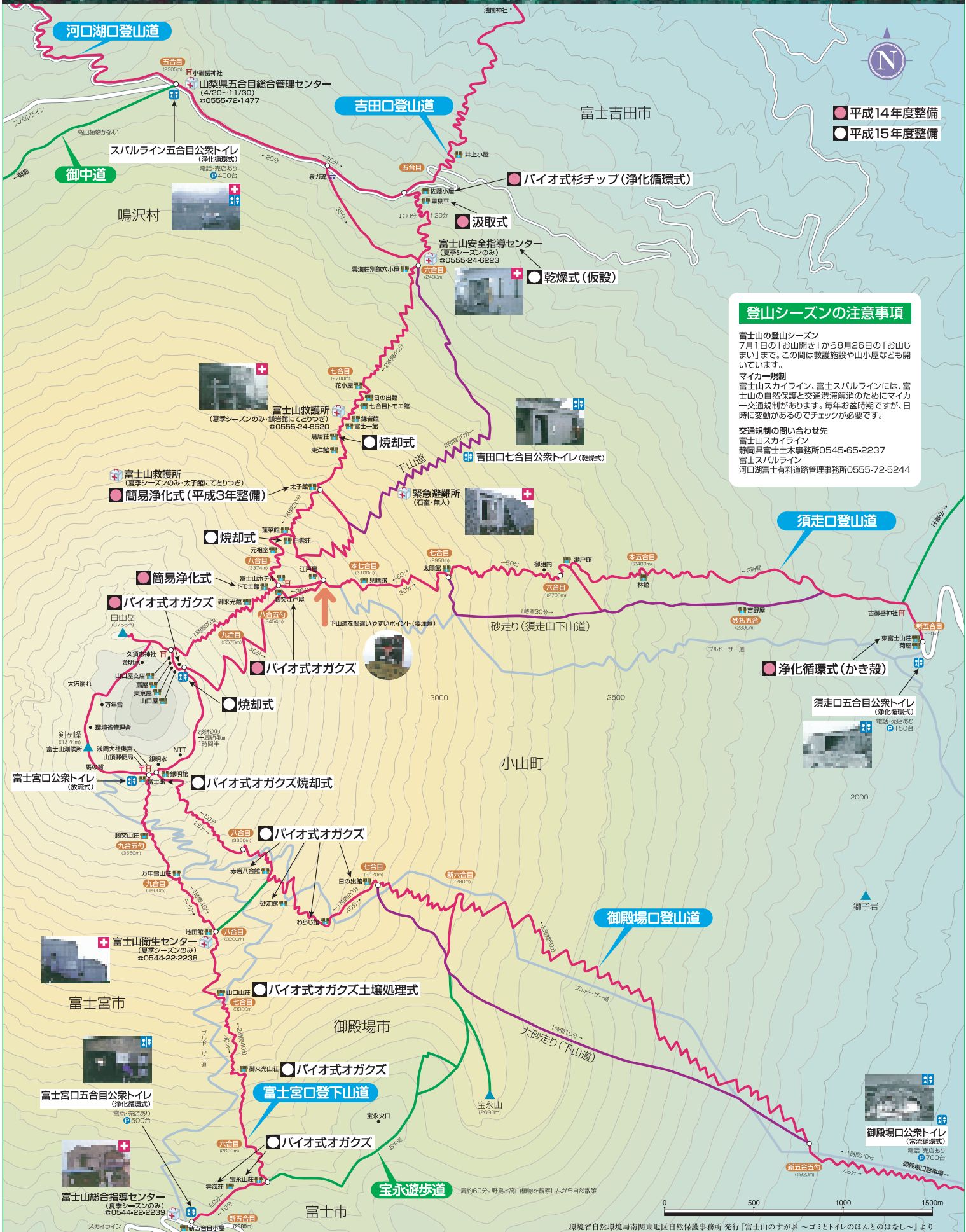
# 富士山トイレ整備マップ

## 富士山のゴミとトイレのお約束

- ☺ トイレを利用するときには、チップを負担しよう！
- ☺ トイレトペーパーなどの水解(溶)性の紙を使用しよう！
- ☺ 使用済みペーパーの分別に協力しよう！
- ☺ ゴミは必ず持ち帰ろう！
- ☺ 便槽の中にゴミを捨てない、また落とさないように気をつけよう！

## 凡例

- 山小屋
- 救護関連施設
- 公衆トイレ
- 登山道
- 下山道
- ブルドーザー道
- その他の道



### 登山シーズンの注意事項

富士山の登山シーズン  
7月1日の「お山開き」から8月26日の「お山じまい」まで。この間は救護施設や山小屋なども開いています。

マイカー規制  
富士山スカイライン、富士スバルラインには、富士山の自然保護と交通渋滞解消のためにマイカー交通規制があります。毎年お盆時期ですが、日時に変動があるのでチェックが必要です。

交通規制の問い合わせ先  
富士山スカイライン 静岡県富士土木事務所0545-65-2237  
富士スバルライン 河口湖富士有料道路管理事務所0555-72-5244